

10/7 (土)

としょかん♪こどもまつり

ユメニティ小ホール／参加無料

ボランティアグループ「まほうの箱」と「やまびこ会」のスペシャルおはなし会やアニメ映画の上映が楽しめるよ！
図書館児童室でかかっているおばけを探す「おばけハンティング」も体験できるよ♪
詳細は図書館のHP、館内配布中のチラシをチェック！



館内展示コーナーのご案内

一般書展示コーナー

『美の饗宴』

児童書展示コーナー

『自分らしいってなんだろう？』

展示期間：9/28(木)～11/28(火)



11/3 (金)
14時～

映画上映『マチネの終わりに』(124分)

《監督》西谷弘 《出演》福山雅治、石田ゆり子 他 《制作年》2019年

ユメニティ小ホール／入場無料(開場 13時30分)

11/17(金)の作家・平野啓一郎氏の講演会に先駆けて、平野氏原作の映画を上映します。
また、館内の特設コーナーにて、著作の展示もしています。



Facebook



図書館 HP

TEL. 0949-25-2240 直方市山部 301-11

URL. <http://www.yumenity.jp/library/top2.html>

開館時間 火～土 10:00～19:00、日・祝 10:00～17:00



図書館 カレンダー・イベント

10月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	⑦
8	9	⑩	11	12	13	14
15	16	17	18	19	⑳	㉑
㉒	23	24	25	26	27	㉘
29	30	31				

※イベントは、変更・中止になることがあります。

- 10/1(日) 14時～ 土曜シアター『市民ケーン』(120分) ★
- 7(土) 10時～ おもちゃ病院(受付13時まで)◆
- 10時30分～ としょかん♪こどもまつり★
- 10(火) 11時～ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 20(金) 10時15分～ 大人の朗読講座(事前申込制)●
- 21(土) 11時～ おはなし会(赤ずきん)
- 22(日) 11時～ おはなし会(図書館職員)
- 28(土) 14時～ おはなし会(クローバーの会)

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	③	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	⑭	15	16	⑰	⑱
⑲	20	21	22	23	24	㉕
㉖	27	28	29	30		

- 11/3(金) 14時～ 映画上映『マチネの終わりに』(124分) ★
- 14(火) 11時～ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 17(金) 10時15分～ 大人の朗読講座(事前申込制)●
- 15時～ 平野啓一郎氏講演会(事前申込制)★
- 18(土) 11時～ おはなし会(赤ずきん)
- 19(日) 10時～ おもちゃ病院(受付13時まで)◆
- 14時～ おはなし会(れろの会)
- 25(土) 14時～ おはなし会(ごくらくとんぼ)
- 26(日) 11時～ おはなし会(図書館職員)

太字は17時閉館、■はお休み

○はイベントがある日です

会場：★ユメニティ小ホール、◆図書館ロビー、●筑豊文庫資料室
他 図書館おはなしコーナー

「そのマンション、終の住処でいいですか？」

原田 ひ香 // 著 /BF 八

有名建築家が建てた、サイコロ状の「細胞」を積み上げたようなマンション。羨望や嘲笑の的となったこの建物は、四十五年の時を経て、多くの欠陥が発覚し、改修か取り壊しかの選択が迫られていた。それぞれの人生を重ね、心が揺れる住人たち。その結末は…。

住処の問題は、誰にとっても身近で重要。

自分も巻き込まれているような感覚になります。(ペコ)

「ボジャギづくり 美しき韓国の伝統」

金 賢姫 // 著 /594.9 キ

韓国の手工艺品ボジャギは、衣類や寝具を仕立てるときに出る端布を、一枚一枚つないで作ります。古くから、何かを包んだり運んだりするために使用されてきました。ひと針ひと針心を込めて縫うことは、「厄を払い、福を招く」ための祈りでもあったそうです。

本書では、ボジャギの基礎知識や作り方が、美しい写真とともに紹介されています。秋の夜長、幸せを祈りながらボジャギづくりはいいかがでしょうか？(tm)

「ぼくは本のお医者さん」

深山 さくら // 文 /K022 ミ

齋藤英世さんは、ドクターです。

治療するのは人ではなく本。これまで修理してきたのは幼稚園の絵本から植物園が持つ牧野富太郎の植物図鑑まで 5000 冊以上！

ただ綺麗になおすではありません。持ち主の思い出が詰まったその本の歴史も大切に修理するのです。どうやるのでしょうか？

1 人の青年が、仕事に出会い、意欲をもって仕事に取り組み、仕事を通じて人に感謝される。その真摯な姿に心が温まります。(スタ子)

「メディコ・ペンナ 万年筆よろず相談」

蓮見 恭子 // 著 /F 八

万年筆のお店、「メディコ・ペンナ」。

店主はぶっくらぼうだが修理の腕は抜群で、使ううちにその人の癖が馴染む万年筆から持ち主の悩みを読み解き、答えを導き出してくれるのだという。メディコ・ペンナでアルバイトを始めた大学生・砂羽は、悩みを抱えて購入や修理に訪れるお客と関わる中で、自分自身の人生の迷いにも向き合い始め…。万年筆を『選んだ』人々の思いが心に沁み、優しく、少しの勇気をもらえる物語。(アキ)

「季節を楽しむ、カンタン手作り リメイクの本」

野崎 朝子 // 著 /750 ノ

身のまわりの物を修理したり、飾りつけたり、ときには全く違うものに作り替えたり…。

春から冬まで月ごとに、さまざまリメイクを提案してくれる本です。どれも大がかりではなく、「これならできそう」と思わせてくれるものばかり。楽しくチャレンジできそうですよ。(majakka)

「命の水 チェコの民話集」

カレル・ヤロミール・エルベン // 編 /K388 エ

本書は、「チェコのグリム」と呼ばれた ボヘミアの作家エルベンが、チェコと周辺の国々で収集した民話のアンソロジーの邦訳。

この一冊で、あまりなじみのないチェコの民話・民謡・ことわざ・なぞなぞなど 20 編の作品を読むことができます。

「旧市庁舎の古いチェコの暦時計」は、古い時計盤の修理を行う画家の物語。この話からは修理・修繕・修復は、元通りに直すことではなく新しい命を吹き込むことだ、ということがわかります。他にも、読みやすい長さの楽しい話がいっぱいあります。(キャラメル)

今月のテーマ

修理



「そっとおとどけ」では毎月テーマにそって、司書のオススメ本を紹介しています。各書評の文末の () は司書のペンネームです。